

# たむらいソーシャルネット ニュース

ゆるがない

有限会社たむらいソーシャルネット

田村 満子

介護保険制度は、平成12年4月から始まり、以降3年に一度の見直しを繰り返している。来年もその見直しの年を迎える。その見直しの内容は、利用者の方々の保険料であったり、利用者のかたの認定区分の考えかたであったり、サービス利用のルールであったり広範にわたっている。確かにこれらの見直しの際に伝えられることにより、これまでできたことができないようになったり、これまでではできなかったことができるようになったり、制度にふりまわされているように感じることもある。

なにかある度に、判断の根拠をこの理念に戻り、確認を繰り返し支援し続けてきている。単身の高齢者の方が、たとえ寝たきりとなつても、「この家がええねん」と言われれば、その実現を目指す、周囲が他の選択肢を提示されても優先順位に迷いはない。「こんな人は家では無理や」と言われることも少なくない。それでも私たちの、優先順位はご本人とともにある。今年、単身の認知症の方を支援者とともに見送った。平成12年に「一人暮らしは無理だ」といわれた人だった。それから8年、時折暴言も出るかただったが、「最高や」と気持ちよいつき、おいしいとき、感情を言葉に表しておられた。日々その支援内容は変化していったが、「普通に暮らしたい」という思いは変わらなかつた。その方は生きること、死ぬことと真摯に向き合い最後まで自律されていた。

さらに十年、この地で根を下ろし、理念を形にしてゆく努力を重ねていきたいと考えています。

(株)マザーハウス

代表取締役

横手 喜美恵 様

田村さんに出会ったのは、今から7、8年前になると思います。

たむらいソーシャルネットの田村さん知ってる？と何人かの人に聞かれて田村さんでどんな人だろうかと思つていました。中央区でたむらいソーシャルネットを立ち上げ高齢者の方たちの相談などに乗っている、といった程度の情報しかなく田村さんでどんな人だろうと興味をもちました。なかなか会える機会もなくいつか忘れていました。

ところが出会うチャンスは、突然やつてきました。A病院に入院中のBさんが退院を目前にして退院時のカンファレンスが開催され、そこで初めて

田村さんにお会いすることになった

のです。その場で、私と田村さんが論戦を戦わすことを楽しみにしていた方がおられました。残念ながら、論戦を戦わす場面はありませんでした。この方が田村さんかと思いましたが、小柄で細身でしたがなかなか存在感のある方だった印象が残っています。

す。大阪介護支援専門員協会で講師として講義されている田村さんを見て、なんとすっかりした意見を持つておられる方だろう、と関心しました。

社会福祉士会の理事という職責から、介護に関する問題や介護保険に関する問題について何かあれば田村さんのご意見を聞いてみたいという思いで連絡をさせていただき、ご指導をいただくようになりました。

私の職場が天王寺区から住之江区に変わり、介護保険の利用者のケアチームとして一緒にかかわる機会がなくなつたのは本当に残念です。田村さんと一緒に仕事をしたかった、というのが正直な思いです。

\*

田村さんの福祉に対する思い、高齢者、障害者にたいする思い、この情熱はどこから来ているのでしょうか。私も体力的にいつまで仕事ができるかわかりませんが、田村さんのように少しでも高齢者、障害者の方たちのために一杯頑張りたいと思います。

(看護師)

# たむらソーシャルネット活動報告

今年一年の活動報告です。昨年から引き続き実施している活動や、昨年から少し形を変えて行っている活動もあります。

## ◆◆ 訪問介護事業 ◆◆

### 【介護保険サービス】

介護保険制度における「サービス提供事業所」の指定を大阪府より受けております。皆さまのご自宅におうかがいし、サービスの提供を行います。

平成二十年十月現在 利用者数 十二名

### 【介護保険外サービス】

介護保険外の介護、外出支援などを行います。施設入所や病院に入院されている方を訪問し、話相手や散歩、買い物の実施等を実施しています。今年度は、京都、サーカス、菓子博へ同行したり、レストランや喫茶店で一緒に食事をしたり、松山や青森に一泊旅行へ行きました。

平成二十年十月現在 利用者数 四名

## ◆◆ 居宅介護支援 ◆◆

### 【ケアプラン作成】

ケアプランの作成、介護保険の申請代行や、介護保険でのサービスを「どこで」「どのくらい」受けるのかといったサービス計画を作成します。

平成二十年十月現在 利用者数 二十二名

## ◆◆ サロン ◆◆

生活リズムを整えるため、昼間の過ごし方を再構築するための場とし、個別対応に努めております。特にプログラムを設けず、参加メンバー、天候、健康状態により過していたいております。サロンから外出することもあります。サロンから外出することもあり、春には高津神社の桜を見、夏には盆踊りへ行きました。

平成二十年十月現在 利用者数 四名

## ◆◆ リビングスペース ◆◆

今年度は昨年度に引き続き、ターミナル(終末期)となり在宅生活が困難となった方の生活サポートしました。

利用者や介護者の一人一人の希望に添えるよう、サービスの充実を図っております。リビングスペースに関心のある見学者の受入れも行っています。

平成二十年十月現在 利用者数 一名

## ◆◆ 実習生受け入れ ◆◆

年間を通じて、各種実習生の受け入れを行っています。今年度は、日本社会福祉士会独立型社会福祉士研修の研修生と、梅花女子大学の学生と大阪社会福祉士会相談センター相談員の受け入れを行いました。

平成二十年十月現在 実習生数 七名

## ◆◆ 講師派遣 ◆◆

ホームページを見て、様々な講師派遣の依頼がありました。ありがとうございます。また、ご意見・ご要望などありましたら、ぜひお願い致します。

講師分類別構成比(%)

講師先	構成比
行政	45.4
職能団体	27.2
民間	27.4

## ◆◆ 相談事業 ◆◆

個人や法人との契約に基づいて、年間を通じて様々な相談に応じています。今年は、公的な相談窓口では援助が難しい方々からの相談に応じる機会が重なりました。

## ◆◆ 勉強会 ◆◆

利用者の方々へより良いサービスが提供できるよう、月に一度勉強会を実施しています。内容は介護技術、認知症の理解等についてなどです。また、外部より管理栄養士をお招きし、感染症、食中毒、衛生管理、精神障がいについても学びました。今後とも勉強を重ねていきたいと思っております。

## 編集後記

ニュース発行にあたり、ご協力くださいました高野様、N様、大江様、野木様、井上様、ありがとうございます。ニュースの内容や、たむらソーシャルネットの事業に関して、ご意見、ご助言がございましたら是非スタッフまでお願いします。

〒542-0012  
 大阪市中央区谷町6丁目14-23  
 TEL 06-6766-7071  
 (有)たむらソーシャルネット

# あんなに昔も昔も

## ハイブリッドタイム



◇ たむらソーシャルネット訪問介護  
◇ 事業をご利用のみなさまからさま  
◇ ざまな「声」をお聞きすることがで  
◇ きました。

### き野 久志 様 『まだき野さんがいらっしゃいます』

今年九十四歳になられた高野様には、孫が十七人、ひ孫が十七人おられます。子供たちが遊びにくると「負けてたまるか、なにくそ!」と思ひ、若い人にエネルギーを貰っているといひます。

いつ訪問しても歯切れの良い口調で笑顔が絶えない。赤い口紅が良くお似合ひで、レースのブラウスに黒のロングスカートを素敵に着こなしておられるのに「こんな寝間着みたいな格好でごめんね、一緒に歩いてもらう人に失礼やね。」と話されます。外出の時はヒールの靴を履き、この方が姿勢良く歩けると言われます。

ベランダには草花が生き生きと育つてます。「毎日この子たちのお世話をするのが楽しみなのよ。」と話される中には二十cmほどのレモンの木があり、「これはレモンを食べた後、口からプツとベランダに向けて種を飛ばしたら、芽が出たのよ。」と説明するユニークな方です。満面の笑顔を見せていただき、私たちも楽しく仕事をさせていただいています。

### N 様 『阪神がんばれ!』

Nさんは野球が大好きで、訪問するといつもスポーツ新聞に目を通しておられます。子どもの時にお父さんに連れられて甲子園に行つてから、ずっと野球を見続けています。阪神タイガースの大ファンで、「あかんかったなあ」と優勝を逃したあとに笑つておられました。

また、一緒に市場に買物に出掛ける

と、「久ぶりやな。元気にしてたか?」と自分から知人に声を掛けられます。そして、お互いの近況を報告します。そして、お互いの近況を報告し、「元氣でおつてや。」と声を掛けてから別れます。Nさんの明るく話す姿を見てみると、こちらまで元氣をもらえます。市場にはNさんの元氣で明るい声が今日も聞こえています。

### 大江 千佳 様 『借見人の立場なら』

Iさんは現在高齢者住宅に入居していますが、外出がお好きだったこともあり、月に2回、たむらソーシャルネットに外出支援をお願いしています。

そのうち1回は、ヘルパーさんに入居先を訪問していただき、近所のドーナツ屋さんや喫茶店でお茶を一緒にしていただいています。コーヒー好きのIさんは、いつもコーヒーを注文

し、お砂糖をいっぱい入れたコーヒーを味わいながら洋服店に勤めていた頃のお話をされ、外出を楽しまれています。

もう一回の外出では、たむらソーシャルネットのサロンで半日を過ごしていただいています。サロンでのIさんは、焼きたてのお好み焼きをすごいスピードで平らげて2枚目を要求されたり、空堀商店街で散歩しておまんじゅうを買ったり、周りの皆さんとも気さくにおしゃべりされたりしながら、楽しい1日を過ごしておられます。

細やかで温かな支援をされ、穏やかな表情のIさんを拝見していると、嬉しくなります。

たむらソーシャルネットの  
ホームページアドレスは  
<http://www.tamura-socialnet.co.jp/>  
です!!!